

徳島県立佐那河内いきものふれあいの里の指定管理候補者の選定結果について

1 申請団体名及び選定結果

施設名	申請団体名	選定結果
徳島県立佐那河内 いきものふれあいの里	特定非営利活動法人 大川原	指定管理候補者

（選定理由）

特定非営利活動法人大川原は、大川原高原の自然環境について熟知するとともに、施設利用者の安全確保や生物関係に係る専門性を考慮した管理運営体制を有しており、様々な年代層からの多様なニーズに対応した、旬の自然の感動的な体験を提供できる観察会及び気軽に参加できる体験イベント等の企画・実施など、的確な業務遂行が期待できる。

また、旭ヶ丸希少野生生物保護区を含む大川原高原一帯の多様な自然環境を活用し、自然環境保全に関する普及啓発や人材育成に取り組む計画が提案されている。

さらに、経費面においては、LED照明への転換や節電の徹底、年間作業計画を作成し作業効率の向上を目指すなど具体的な維持管理経費の削減が検討されている。

以上のことから、選定委員会における審査において、適切であると認められており、指定管理候補者として適格な団体であると判断した。

2 徳島県立佐那河内いきものふれあいの里指定管理候補者選定委員会委員名簿

役職	氏名
徳島大学生物資源産業学部准教授	佐藤 征弥
阿波池田商工会議所副会頭	谷 尚美
徳島県社会保険労務士会顧問	米澤 和美
税理士法人すばる会計社員	真鍋 恵美子
徳島県グリーン社会統括監兼危機管理環境部副部長	久米 明德

3 選定の経緯

令和4年 7月11日	第1回選定委員会 (募集要項の承認、審査基準等の決定)
7月25日	募集開始(募集要項の公表)
8月23日	現地説明会
9月 9日	募集要項配布終了
9月12日～22日	申請書類受付
10月18日	第2回選定委員会 (書類審査、提案説明、質疑、 指定管理候補者の選定)

4 選定委員会における選定結果

施設名	申請団体名	総合得点
徳島県立佐那河内 いきものふれあいの里	特定非営利活動法人大川原	適(総合評価)

5 指定管理者候補者の提案内容

審査項目	提案内容												
県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮	○ 各年代のニーズにあわせて、旬の自然の感動的な体験を提供できる各種イベントを企画・実施 ○ 旭ヶ丸希少野生生物保護区での自然観察・調査を通じて、絶滅危惧種等の重要性を考える機会の付与 ○ 県立博物館、県の試験研究機関、近隣の大学や専門家と連携した「生物多様性とくしま戦略」の普及啓発や人材育成												
効率的な管理運営（経済性の追求）	○ 適材適所の人員配置と年間作業計画を作成し、事業を効率化 ○ 定期的、日常的保守点検を心がけ、施設を長寿命化 ○ 指定管理料は、5年間で105,765千円（税込） （単位：千円） <table><tr><th>年度</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th></tr><tr><td>指定管理料</td><td>21,153</td><td>21,153</td><td>21,153</td><td>21,153</td><td>21,153</td></tr></table>	年度	R5	R6	R7	R8	R9	指定管理料	21,153	21,153	21,153	21,153	21,153
年度	R5	R6	R7	R8	R9								
指定管理料	21,153	21,153	21,153	21,153	21,153								
安定した管理のための人的・物的経営基盤の状況	○ 専門、担当に捉われず、相互に補い合う協力体制を構築 ○ 環境や施設運営に関する研修会に積極的に参加することにより職員の資質を向上												
地域への貢献及び連携等	○ 村内外の各種団体と連携・協働するとともに、相乗効果を生かし、より良好な協働関係を構築 ○ 地元の小・中学校や住民が村内で実施する自然環境保全及び植生復元活動等に、積極的に参加、協力												